

福岡県交通安全施設業協会の「第3回通常総会」開く
田中会長らを再任し、新体制で専門工事業団体として更なる発展へ



新役員や事業計画などを決めた「令和元年度第3回通常総会」

(一社)福岡県交通安全施設業協会(田中賢哉会長 会員73社)の「第3回通常総会」は24日、福岡市の博多サンヒルズホテルで開き、役員改選で田中会長と近藤・星子副会長の再任等の新体制を決めたほか、①教育・研修・講習会の開催、②危険箇所等の調査活動の実施、③予算獲得・経費率アップ・分離発注等の陳情活動などを盛り込んだ「令和元年度事業計画(案)」と会費増額など「令和元年度会費・予算(案)」を承認した。総会後は福岡県や顧問の県議会議員、業界団体関係者らを招き、意見交換会を開いた。



挨拶の田中会長

総会の冒頭、挨拶に立った田中会長は、昨年6月の出前講座、路面標示施工技能士検定試験の共催、7月の豪雨災害時の速やかな支援業務の実施、区画線の調査結果報告など、昨年の協会活動を振り返った後、「設立3年目を迎え、協会の基礎を固める時期に来ている。本日の総会では、会費増額を提案させていただきますが、事務局の体制を整え、広報・宣伝活動に力を入れるとともに、交通安全施設に係る調査・研究のための予算案であり、皆様の期待にお応えできるよう、役員一体となって頑張っていきます」、

「日本は少子高齢化時代を迎え、交通安全施設の整備、高度成長時代に造られた社会資本の維持管理が課題。交通安全施設の整備関連予算が十分に得られるよう要望活動を行うとともに、今年の調査活動では区画線だけでなく、危険箇所等の調査も行っていきたい。安全で快適な社会生活の構築には、区画線や路面標示の鮮明化、道路標示標識の国際化、防護柵等の整備など道路の安全システムづくりが不可欠のテーマとなっており、それらの調

査研究活動の拡大・充実も図っていききたい」と抱負を述べた。

来賓挨拶は、福岡県県土整備部の久保道路維持課長が「今年もまもなく梅雨の季節。県内全域にネットワークを持つ当協会には災害対応で資機材や工事施工の協力、支援がいただけるということで、大変心強く思っています。滋賀県大津市で、保育園児の痛ましい事故が発生しましたが、今後、ガードレールであったり、車止めであったり、更なる交通安全施設整備への期待が高まっていくものと考えます。県民の安全安心に関わる交通安全施設について、しっかりと整備していきます」。また、福岡県警察本部交通部の松岡交通規制課長は、県内の高齢者や飲酒運転などの交通事故状況と課題などについて話し、「事業者として交通事故防止に努め、飲酒運転が疑われる車を発見した場合には、110番通報していただきたい」と交通行政への協力をお願いした。

このあとの議事では、田中会長を議長に選出し、会員71社（委任状含む）の出席確認、議事録署名人選任のあと、①平成30年度事業報告、②平成30年度収支決算報告、③改選期における役員改選（案）、④令和元年度事業計画（案）、⑤令和元年度会費・予算（案）について審議し、いずれも原案の通り承認した。事業計画では、専門工事業界として更なる発展に寄与するため、各種専門委員会が中心になって研



乾杯の見坂県土整備部長

修会・講習会などを積極的に開催するとともに、その結果を道路管理者や公安委員会等に周知徹底を図り、広報活動を実施する。また、土木親和会との連携した陳情活動、発注要望、新技術・新製品の紹介等を行う。さらに、行政に対し、予算獲得・経費率アップ、分離発注等の陳情を行う。

総会のあと、福岡県県土整備部の見坂部長と幹部職員、顧問の松尾統章県議会議員（自由民主党福岡県支部連合会幹事長）、関係団体役員らを招いて、意見交換会が開かれた。



来賓挨拶の
久保県道路維持課長



来賓挨拶の
松岡交通規制課長

「新役員」（氏名は敬称略）

代表理事・会長＝田中賢哉（西日本ディックライト株）、▽理事・副会長＝近藤正明（株寿陽建設）、星子洋満（双葉工業株）、▽理事＝井上晋作（交通器材株）、千葉伸一（株山水製作所）、武藤哲也（ニチハツ工業株）、米田剛士（大東産業株）、大塚広貴（株九州標識）、白石貴博（株白石道路施設）、稲富貢（株マルイ産業）、高野敏治（株エスアールシステム）、浅田実弦（株久留米道路施設）、▽監事＝小西竹丸（ミカドコーポレーション株）、中池廣海（道路安全施設株）